

○計画期間：平成28年12月～平成34年3月（5年4月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市においては、平成28年11月29日に第3期中心市街地活性化基本計画の認定を受け、郊外に北陸新幹線南越駅（仮称）が開業する前の平成34年3月までの計画期間を中心市街地活性化の正念場として、①「まちの顔づくり」、②「暮らしの再生」、③「にぎわいの再生」の3つのテーマに沿った多様な施策を推進している。

- ① 「まちの顔づくり」については、平成30年の福井国体開催を見据え再整備が進められていた武生中央公園の「越前市AW-Iスポーツアリーナ」並びに「だるまちゃん広場」が平成29年8月に完成したことにより、街のシンボリックな存在として賑わいの創出に大きく寄与している。

また、市民が日常的に利用し様々な活動の拠点となる「新庁舎交流施設」においても、平成31年度の完成に向け建設工事を着手しており、併せて、親子をはじめ多世代の市民が憩う交流施設と市民団体の活動拠点を集約した施設として「（仮称）市民センター」の整備についても、平成30年度より設計を開始し、新庁舎との同時共用開始に向け事業を推進している。

今後は、市民とともにこれらの施設を協働で活用し、官民連携による活性化を推進するとともに、これらの拠点施設を道路整備等でネットワークしていくことで、まちの顔づくりの一層の推進を図っていく。

- ② 「暮らしの再生」については、中心市街地の人口は市全体を上回る割合で減少が続いているものの、本市独自の新婚夫婦を対象とした家賃補助制度や空き家対策事業の推進により減少幅を抑えてきており、一定の成果を得ている。

平成30年度からは、まちなか居住を促進するため、個人住宅の取得を支援する事業や個人又は法人が空き地や未利用地を活用し住宅団地の整備を支援する事業等を新設することで、暮らしの再生を目標とする住宅施策の充実による更なるまちなか居住を図っていく。

- ③ 「にぎわいの再生」については、まちなか開業支援事業により店舗が新たに開業するなど、集客の向上による中心市街地の活性化が期待されている一方、店舗の定着も課題となっていた。

平成30年度には、総社通り商店街のアーケードを撤去し、景観を生かしたまちづくりを推進するとともに空き店舗の活用や新店舗の誘致を促進し、恒常的な賑わいの創出を目指していく。

【越前市の状況に関する基礎的なデータ】

(越前市内)	平成 27 年度 (計画期間開始前年度)	平成 29 年度 (フォローアップ年度)
人 口	83,735	83,061
人口増減数	△27	114
社会増減数	228	452
転入者数	2,928	3,198

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(中心市街地区域)	平成 27 年度 (計画期間開始前年度)	平成 29 年度 (フォローアップ年度)
人 口	5,682	5,478
人口増減数	△80	△99
社会増減数	19	△43
転入者数	225	178

2. 平成29年度の実施等に対する中心市街地活性化協議会の意見

越前市中心市街地活性化協議会では、基本計画の「定期フォローアップに関する報告」並びに「計画変更申請」について、協議会開催等により意見聴取を行った。

平成 29 年度の基本計画に関する取組みの進捗状況については、認定から 1 年 5 か月が経過し、目標である「まちの顔づくり」「暮らしの再生」「にぎわいの再生」に向けた目標指標の数値は、いずれも達成されている。

また、平成 27 年 4 月に設立された「まちづくり武生(株)」では、中心市街地活性化区域内で「賑わいの創出」「商業振興」「まちなか居住促進」を柱に活動 3 年目を迎え、徐々に事業の成果も見えつつある。

以上により、平成 29 年度の基本計画における取組みは、順調に推移しているものと評価する。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 (4月1日確定)	前回の 見通し	今回の 見通し
まちの顔づくり	市民交流施設の 利用者数	64,541人 (H27)	77,420人 (H33)	37,686人 (H29)	①	①
暮らしの再生	施策による移住者数	64人増 (H27)	累計 400人増 (H28～33)	累計 176人 (H29)	①	①
にぎわいの再生	活性化に寄与する 市民活動の回数	56回 (H27)	92回 (H33)	86回 (H29)	①	①
	施策による まちなか開業件数	5件 (H27)	累計 24件 (H28～33)	累計 12件 (H29)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

【市民交流施設の利用者数について】

対象となる市民交流施設の中で、生涯学習センター・市民ホールは、新庁舎建設に伴い解体されており、平成28年度以降においては、福祉健康センター利用者数のみを対象とした。

結果、生涯学習センター・市民ホール利用者が福祉健康センターを利用したことから、平成29年度目標値である32,668人を上回る37,686人の利用があり、最終目標値に向け順調に増加している。

平成31年度には新庁舎市民交流スペースと（仮称）市民センターを整備することで、解体前の生涯学習センター・市民ホール利用者数は当施設での利用が想定され、多世代の市民が憩う交流施設と市民団体の活動拠点を集約した施設を構築していくことで、目標とする利用者数は確保できる見込みである。

また、すでに取り壊されている文化センター中ホールで開催されていたイベントを同施設で開催することを誘導することも含めて、施設利用の目標達成が見込まれている。

【施策による移住者数】

まちなか住宅取得支援事業等の施策により、中心市街地活性化区域内への移住者の確保を目指した結果、最終目標値の累計400人に向け、平成29年度目標値の67人を上回る100人の移住があり、最終目標値に向け順調に増加している。

平成28年度末に優良共同住宅が1棟完成し、入居が開始されたことに伴い、支援制度活用による移住者が大幅に増加した。

また、街なかの空き家に関する問い合わせについても「まちづくり武生（株）」に対し増加をしている。

その他、子育て世帯定住化支援事業等の新たな住宅施策の充実による更なるまちなか居住を図っていくことも踏まえ、今後においても目標数が達成できるものと見込まれる。

【活性化に寄与する市民活動の回数】

中心市街地活性化に寄与する市民活動やイベントの回数については、蔵の辻界限において市民団体が音楽を主体とするイベントを月1回の割合で開催するとともに、北府駅構内においても地域住民で構成する団体が毎年5回の割合で飲食ブースを主体とするイベント開催や北府駅の定期清掃作業の実施など市民主体の活動の定着により、近年着実に増加傾向にある。その結果、平成29年度目標値の72回を上回る86回のイベントが開催され、最終目標値の92回に向け順調に増加している。

今後は、新たな活動拠点として武生中央公園内の「だるまちゃん広場」や飲食スペース「はぐもぐ」の利用を働きかけるとともに、大学生や市民団体に対するイベント支援制度の周知等を行い、新規イベントの誘致を推進することにより、目標は達成できるものと見込んでいる。

【施策によるまちなか開業件数】

平成29年度におけるまちなか開業件数は、経営中心の支援から「店舗新築又は改修に必要な工事費等」を助成する設備投資支援に変更した成果により、目標値の4件を上回る7件が開業し、最終目標値の累計24件に向け順調に増加している。

平成30年度には「総社通り商店街」においてアーケードを撤去し、景観を生かした店舗誘致、並びに「まちづくり武生（株）」と空き店舗リノベーションに向けた関係者の連携強化を図ることにより、目標は達成できるものと見込んでいる。

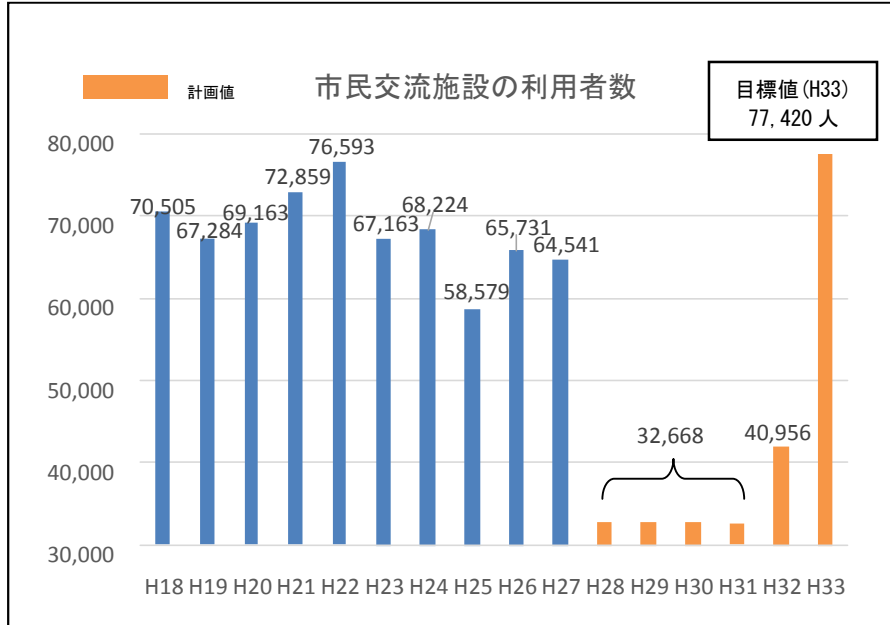
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「市民交流施設の利用者数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P70～P72 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H27	64,541 (基準年値)
H28	34,709
H29	37,686
H30	
H31	
H32	
H33	77,420 (目標値)

※調査方法：市民交流施設の年間利用者を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：市民交流施設

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新庁舎建設事業 (事業主体名) 越前市

事業完了時期	平成32年度【実施中】
事業概要	本庁舎内に、市民利用機能として、多目的ホールや控室、和室、調理室、視聴覚室などの生涯学習施設を中心に、約1,700㎡の屋内交流施設を整備する。 施設の屋外には、雨天時でも利用可能な大屋根を整備する。
事業効果及び進捗状況	既に「生涯学習センター」「市民ホール」は解体し、現在、基礎工事を着工しており、平成31年度内の開庁に向け順調に進捗している。完成後は、多目的ホール・大屋根ひろばなどを活用した市民交流や市民活動が更に展開され、まちの活性化が図られることが期待される。

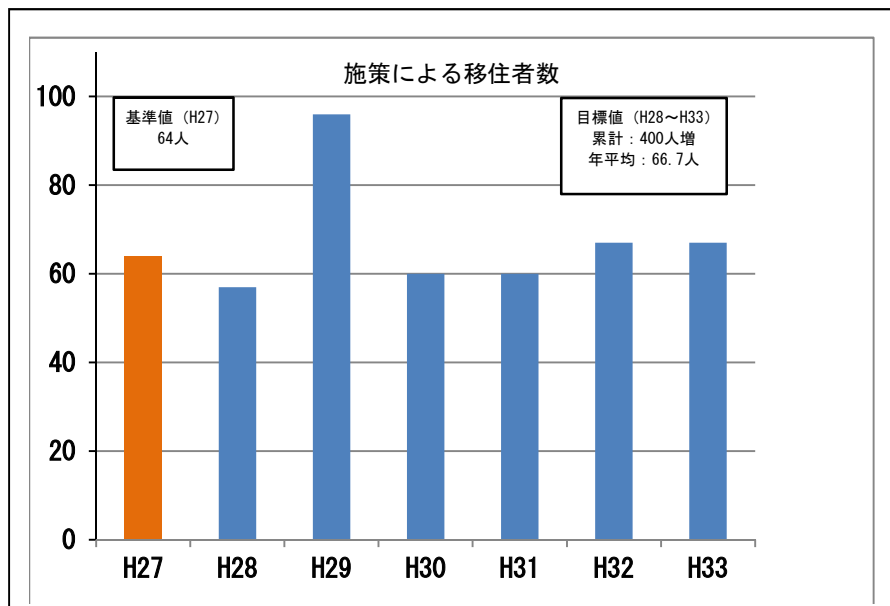
●目標達成の見通し及び今後の対策

取り組みの進捗状況は概ね順調であり、目標達成可能と見込まれる。

新規のイベント誘致を、引き続き市民団体等に働きかけていく。

「施策による移住者数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P73～P74 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H27	64 (基準年値)
H28	76
H29	100
H30	
H31	
H32	
H33	累計 400 (目標値) 66.7/年

※調査方法：住宅施策の被支援者数を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：新婚夫婦定住化支援事業、まちなか住宅取得支援事業、まちなか優良共同住宅整備促進事業、まちなか空き家等リフォーム支援事業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新婚夫婦定住化支援事業 (事業主体名) 越前市

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	婚姻1年以内の新婚夫婦が中心市街地活性化基本計画の認定区域に居住するか、夫婦いずれかが転入して市内の民間賃貸住宅に居住する場合に、家賃の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、市内全体で82件、うち9件は中心市街地活性化区域内の申請であった。 これにより、まちなかの定住化に寄与することができた。

② まちなか住宅取得支援事業 (事業主体名) 越前市

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内において、住宅を取得する場合に、その取得費の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、中心市街地内において、8件の申請であった。 引き続き制度周知を行い、まちなかでの住宅数増加を図る。

③ まちなか優良共同住宅整備促進事業（事業主体名）越前市

事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	中心市街地内において、共同住宅を整備するものに対し、その整備費の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行ったものの、今年度は共同住宅の整備に至らなかった。 平成30年度より、補助要件を4戸以上から2戸以上に変更するなど、制度の利用促進を図る。

④ まちなか空き家等リフォーム支援事業（事業主体名）越前市

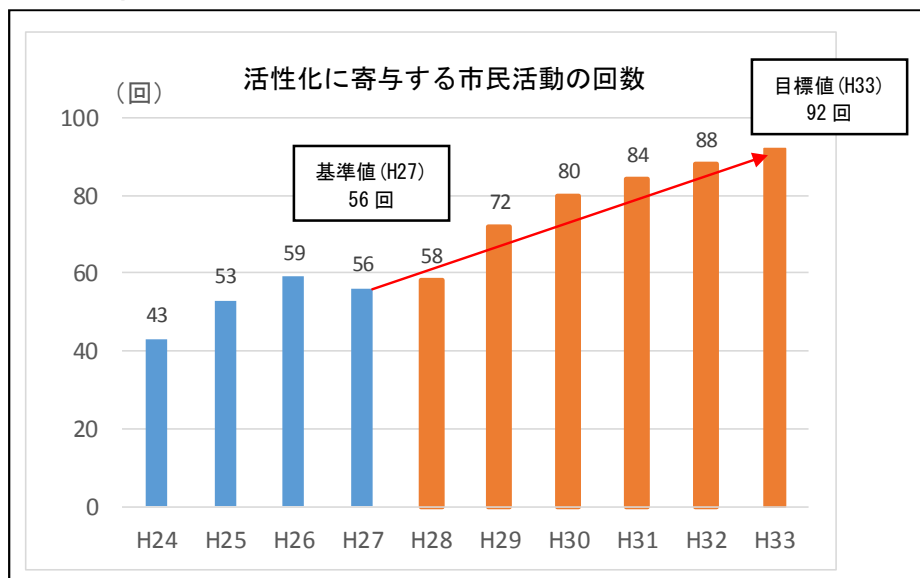
事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	中心市街地において、売買・賃貸借を目的に空家をリフォームするものに、その費用の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、中心市街地活性化区域内において、3件の申請があった。 これにより、まちなか空き家の利活用に寄与することができた。

●目標達成の見通し及び今後の対策

取り組みの進捗状況は概ね順調であり、目標達成可能と見込まれる。
引き続き、制度の周知を図り支援を継続していく。

「活性化に寄与する市民活動の回数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P75 参照

●調査結果の推移



年	(単位：回)
H27	56 (基準年値)
H28	59
H29	86
H30	
H31	
H32	
H33	92 (目標値)

※調査方法：まちなかイベントサポート事業等、活性化に寄与するイベント回数を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：まちなかイベントサポート事業、寺社おこし事業、
都市公園等利用促進イベント支援事業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなかイベントサポート事業（事業主体名）まちづくり武生（株）

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	蔵の辻を中心とするまちなかで実施するイベントのサポート イベント情報の収集、発信、調整
事業効果及び進捗状況	武生まちなか情報サイト「武ナビ」を作成し、近況のイベントや飲食店情報を配信することにより、賑わいの創出に寄与することができた。 今後、蔵の辻を中心とするまちなかで開催されるイベント等を支援していく。

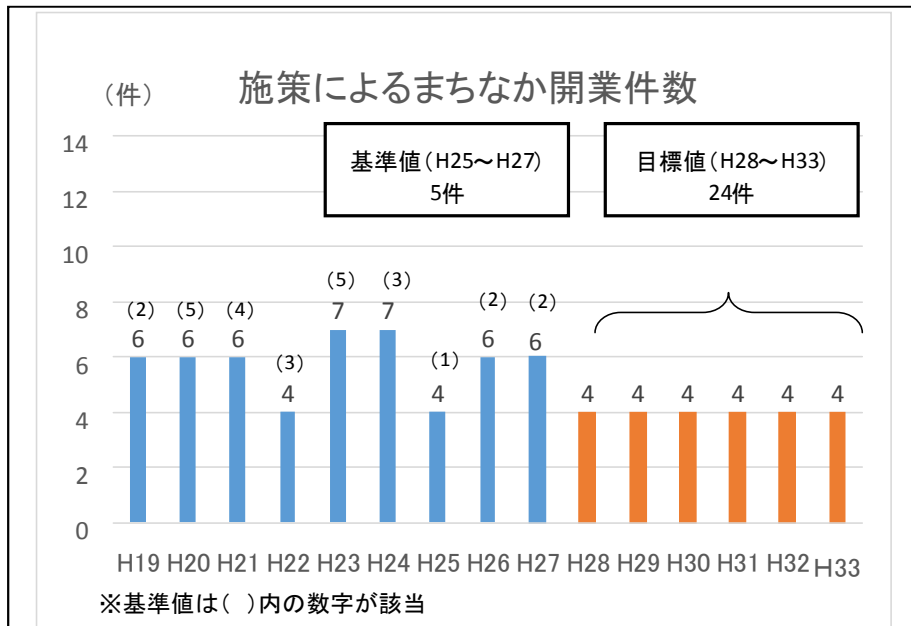
●目標達成の見通し及び今後の対策

取り組みの進捗状況は概ね順調であり、目標達成可能と見込まれる。

引き続き、蔵の辻を中心としたイベントに対し、支援を継続していく。

「施策によるまちなか開業件数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P76 参照

●調査結果の推移



年	(単位：件)
H27	5 (基準年値)
H28	5
H29	7
H30	
H31	
H32	
H33	4 累計 24 (目標値)

※調査方法：まちなか出店・改装促進支援事業、まちなか開業支援事業、空き店舗等活用事業等による開業件数を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：地元商店街、まちづくり会社等の民間事業者が主体となり策定した「商店街活性化プランに基づき、まちなか開業支援事業、空き店舗等活用事業等を活用して開業した店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか出店・改装促進支援事業（事業主体名）まちづくり武生（株）

事業完了時期	平成29年度～【実施中】
事業概要	中心市街地において店舗等を開設、改装する場合に助成金を交付
事業効果及び進捗状況	目標値を上回る7件が開業し、最終目標値である24件に向け、取り組みは順調であるが、中心市街地活性化エリア全体に新規開業店が散在し、賑わいの創出感が生み出せていない。 平成28年度に「まちなか開業支援事業」を廃止したが、助成は平成31年度まで運用をしている。 また、本事業により店舗等の内装、外装に関する設備投資に対し助成することにより、新規開業店等の支援を継続する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

取り組みの進捗状況は概ね順調であり、目標達成可能と見込まれる。

引き続き新制度を活用し、支援を継続していく。